

地域福祉に関する市民意識調査の結果概要をお知らせします

問合せ先 福祉課地域福祉係 ☎72-2111内線445

市では、地域福祉を推進する小郡市地域福祉計画の策定に昨年度から取り組んでいます。
この計画を策定するための基礎資料とするため、市民を対象に地域福祉推進についてのアンケート調査を行いましたので、その結果の概要をお知らせします。調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。
なお、結果報告書は各校区公民館などに置いているほか、市ホームページで見ることができます。

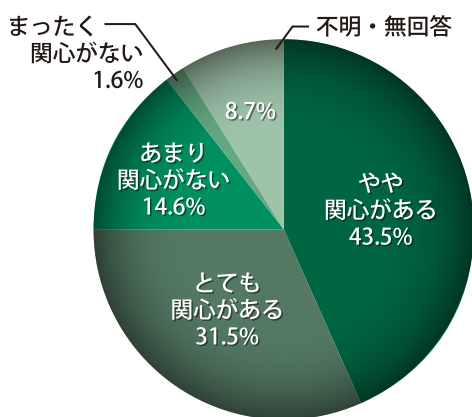
調査の概要

調査対象	市内在住の満20歳以上の人から2,000人を無作為抽出
調査方法	郵送により調査票を発送。記入した調査票を返信用封筒で郵送
調査期間	平成25年10月22日～11月7日
回収状況	1,113票(回収率55.7%)

福祉への関心度

あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。
(ひとつだけ○)

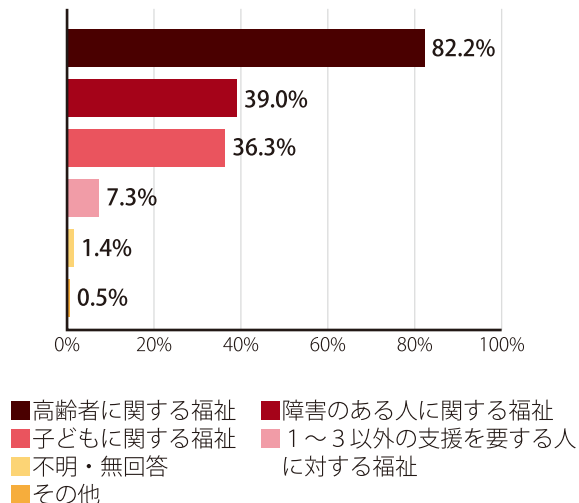
「とても関心がある」と「やや関心がある」と答えた人が75.0%に上りました。一方で、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」と答えた人は、16.2%となっています。



分野別の関心度

「福祉」のどのような分野に関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

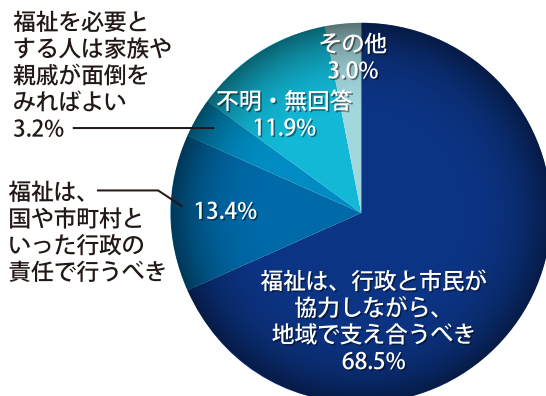
「高齢者に関する福祉」が82.2%と最も高く、次に「障害のある人に関する福祉」が39.0%、「子どもに関する福祉」が36.3%となっている。



福祉のあり方

「福祉」のあり方は、
どのようであるべきだと思いますか。
(ひとつだけ○)

「福祉は、行政と市民が協力しながら、地域で支え合うべき」が68.5%と最も高く、その一方で、「福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき」が13.4%、「福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい」が3.2%となっています。

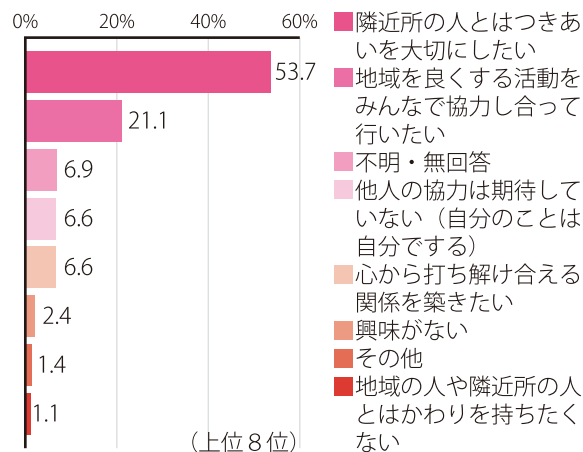


地域とのかかわり

地域での人と人とのかかわりについて、
あなたのお考えに近いものをお選びください。
(ひとつだけ○)

「隣近所の人とはつきあいを大切にしたい」が53.7%と半分以上を占めています。

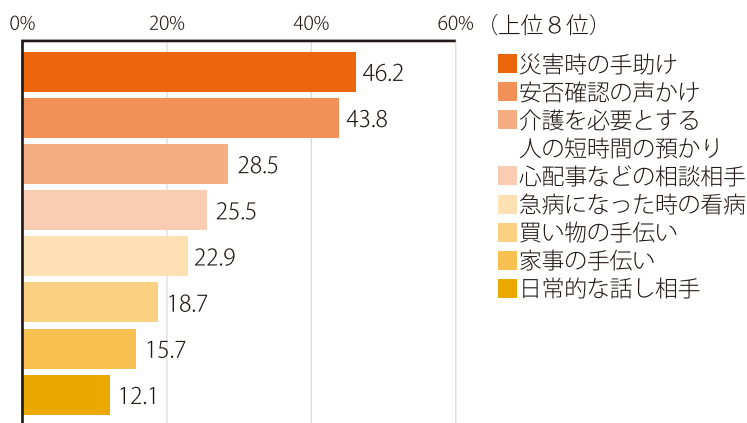
次に「地域を良くする活動をみんなで協力し合って行いたい」が21.1%、「心から打ち解け合える関係を築きたい」「他人の協力は期待していない(自分のことは自分です)」が6.6%となっています。



受けたたい支援

あなたやご家族に助けが必要になった時、どのような支援をしてほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

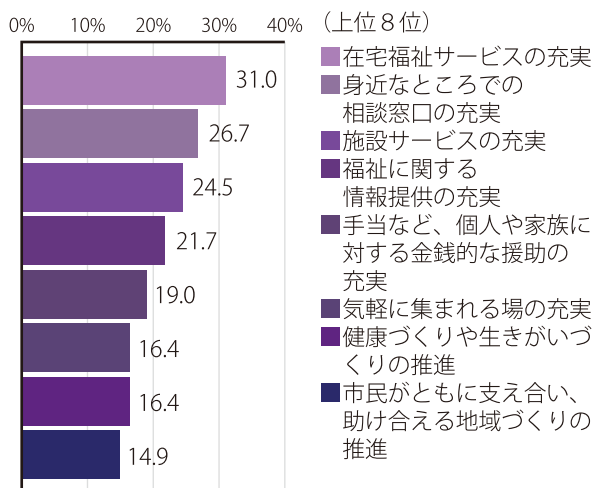
「災害時の手助け」が46.2%と最も高く、次に「安否確認の声かけ」が43.8%、「介護を必要とする人の短時間の預かり」が28.5%となっています。



これからの福祉のあり方

市民が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくためには、どのような福祉のあり方が大切だと思いますか。(○は3つまで)

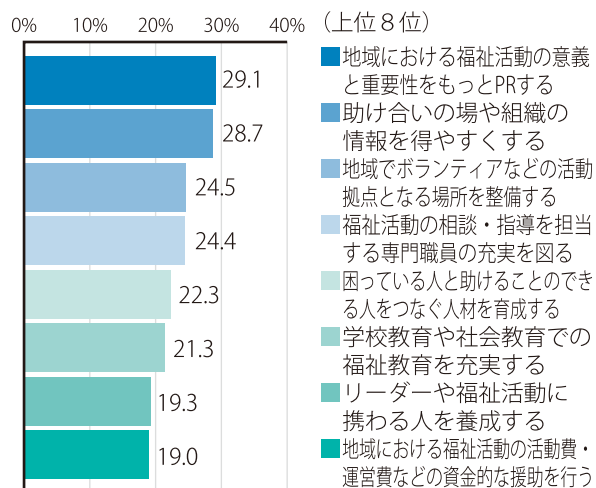
「在宅福祉サービスの充実」が31.0%と最も高く、次に「身近なところでの相談窓口の充実」が26.7%、「施設サービスの充実」が24.5%となっています。



地域での支え合いを活発にするために

今後、地域における支え合い、助け合い活動を活発化することが重要になってきます。そのためには、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が29.1%と最も高く、次に「助け合いの場や組織の情報を得やすくする」が28.7%、「地域でボランティアなどの活動拠点となる場所を整備する」が24.5%となっています。



現在、こうした調査結果の分析をすすめています。今後、さらに分析をすすめ、調査結果から出てくる課題とその課題に対する解決策を検討していきながら、地域福祉計画の策定を進めていきます。